

<北の便りー1, 472ー>2017. 12. 28版

3360地区チェンライ RC パスト会長便り

ハンディーを跳ねのけ生きる姿に 過日、私のアカ族子供支援を支える「アカ族子供就学支援基金」が15人の里親支援と1人の奨学資金支援を行った。全てアカ族の子だ。奨学資金支援のフレンドは地元ラチャパット大学日本語科に学ぶ。私の彼女との関りは6年になる。彼女はタイ社会では典型的な貧困と差別の中に生きる。そのハンディーを高校1年時から、日本語成績トップで跳ねのけた。教え子の彼女を助けずして「私は北タイ・アカ族子供に識字向上支援をしています」はないと自分に言い聞かせた。その私を、彼女の日本留学受け入れで助けてくれたのが福島・いわき平中央ロータリークラブ、パスト会長の田久昌二郎さんだ。自宅に預かり全ての費用を負担され10ヶ月間面倒見られた。彼女はその恩を留学中に、日本語検定3級合格の形で田久お父さんにお返しして帰国した。今大学日本語科に学ぶが、学業は学年で断トツのトップに行く。彼女が夢に向かい努力を続ける限り支援の継続に異論を唱える「基金」の方はいない。彼女から手紙を預かった。「基金」の支援のお陰で学べていると綴る。自らの努力でアカ族の子に生まれたハンディーを跳ねのけ生きる彼女に喝采だ。そして活きた奨学資金支援に感謝だ。

